

報道関係各位

国立がん研究センターと日本ベーリンガーインゲルハイム
オンコロジー領域の臨床開発推進を目指した包括的提携契約を締結

2017年7月11日

国立研究開発法人国立がん研究センター
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

国立研究開発法人国立がん研究センター（所在地：東京都中央区、理事長：中釜斉、以下「国立がん研究センター」）と日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：青野吉晃、以下「NBI」）はこのほど、オンコロジー領域における臨床開発を推進するための包括的提携契約を締結しましたので、お知らせいたします。

本契約は、ベーリンガーインゲルハイムが有するオンコロジー領域の新規開発品について、早い段階から日本国内での臨床開発に着手できるように国立がん研究センターと協力体制を構築し、がん患者さんが待ち望む革新的な治療薬をいち早く医療現場へお届けすることで、日本及び世界の医療に貢献していくことを目的としています。

本契約で包括的な提携関係を構築することによって、個別の開発品に関する開発戦略を早い段階から協議することが可能となり、日本の臨床研究者のすぐれたアイデアをグローバル開発に反映して進めることができます。また、病院と研究所との強固な連携により国立がん研究センターが有する高度ながん研究技術及び臨床経験と、ベーリンガーインゲルハイムが有する高い研究開発能力を融合し、特に、ファースト・イン・ヒューマン試験を含む革新的な早期開発試験、新規バイオマーカーの探索等のトランスレーショナル・リサーチ、アジアで頻度の高い腫瘍疾患に対する開発等を推進していきます。

国立がん研究センター理事長の中釜斉は次のように述べています。「ベーリンガーインゲルハイム社と日本におけるがん医療及びがんの基礎・開発研究の中心的な役割を果たしている当センターとの間での包括的な連携が実現することは大変に喜ばしいことであります。両者の連携により、グローバルな視点での創薬開発とトランスレーショナル研究が一層強化され、希少性の高い腫瘍疾患を含めたがんゲノム医療・ゲノム創薬が加速されることが期待できます」

NBI 代表取締役社長の青野吉晃は次のように述べています。「ベーリンガーインゲルハイムは、日本における臨床開発を非常に重視しています。今回、国立がん研究センターの医師

や研究者の皆さんと連携することによって、これまで以上にグローバル開発に日本が大きな影響を与え、最終的に日本のがん患者さんにとって最適な治療法を提供することができるものと楽しみにしています」

国立がん研究センターと NBI はこれまでも臨床試験や共同研究などで協力してきました。今回の包括的提携によって、さらに緊密な関係が構築され、革新的ながん治療法の開発に対して日本の研究者がより積極的に寄与することが期待されます。

国立研究開発法人 国立がん研究センターについて

国立がん研究センターは、1962年にわが国のがん医療の拠点となる国立機関として創設されました。以来、がん研究・がん医療における国立の中核機関としてがんの病態解明とこれに基づく新規バイオマーカー探索など治療開発に向けた先端的な研究や医療の均てん化を牽引してきました。治験の実施件数も国内トップクラスで、第 I 相試験や医師主導治験も積極的に実施しています。

また中央病院と東病院は、日本発の革新的医薬品・医療機器・医療技術の開発等に必要となる質の高い臨床研究や治験を推進するため、国際水準の臨床研究や医師主導治験の中心的な役割を担う病院として、2015年、医療法に基づく臨床研究中核病院に承認されました。

<http://www.ncc.go.jp/jp/>

ベーリンガーインゲルハイムについて

研究開発主導型の製薬企業ベーリンガーインゲルハイムは、130年以上にわたり、医療用医薬品と動物用医薬品において革新的な医薬品を提供してきました。ベーリンガーインゲルハイムは世界におけるトップ 20 製薬企業の 1 つで、株式を公開しない独立した企業形態を維持しています。約 50,000 人の社員が、医療用医薬品、アニマルヘルスおよびバイオ医薬品の受託製造の 3 つの事業分野において、革新的な製品開発を通じた価値の創出に日々取り組んでいます。2016 年度、ベーリンガーインゲルハイムは 159 億ユーロ（1 兆 9,133 億円）の売上高を達成しました。30 億ユーロを超える研究開発費は売上の 19.6%に相当します。

ベーリンガーインゲルハイムにとって社会的責任を負うのは当然のことです。「**Making More Health**（人々のより良い健康の実現を目指して）」などの社会的なプロジェクトへの関与はそのためです。ベーリンガーインゲルハイムは社員の多様性を促し、社員の様々な経験やスキルの活用を積極的に進めています。また、環境保護と持続可能な社会の実現に向けて全力を尽くしています。

なお、ベーリンガーインゲルハイムはフランスに本社を置くサノフィ社と戦略的事業交換を行い、2017年1月のクロージングを以て、ベーリンガーインゲルハイムのコンシューマーヘルスケア(CHC)事業をサノフィへ譲渡し、サノフィの動物用医薬品事業であるメリアル

を取得しました。

日本では日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社が医療用医薬品ビジネス、ベーリンガーインゲルハイム ベトメディカ ジャパン株式会社とメリアル・ジャパン株式会社が動物用医薬品ビジネス、そしてベーリンガーインゲルハイム製薬株式会社が医療用医薬品製造を担っており、ベーリンガーインゲルハイム ジャパン株式会社が上記4つの事業会社にサービスを提供しています。

詳細は下記をご参照ください。

<http://www.boehringer-ingelheim.com>

(ベーリンガーインゲルハイム)

<http://www.boehringer-ingelheim.jp>

(ベーリンガーインゲルハイム ジャパン)

<本件についてのお問い合わせ先>

国立研究開発法人国立がん研究センター 企画戦略局 広報企画室 Tel. 03-3542-2511

ベーリンガーインゲルハイム ジャパン株式会社 広報部 Tel. 03-6417-2145